

# 課題解決検討シート

## (第3回会議まとめ)



	SNSの懸念事項・問題点	解決策・ルール
		どこまでの発信がOKか？(SNSの方法や手段など)
1	SNS発信することによって、審議中のものが決定しているかのように捉えられる可能性がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最低限の常識を守る。 (当たり前に見えるような事も必ず共有してから掲載する。)</li> <li>・使用する「#ハッシュタグ」, 「写真」や「文章」などの素材をあらかじめ事務局で限定する。</li> <li>・基本的には所管課がSNS掲載した内容のシェアにとどめる。所管課発信の内容転用がやはり安心安全なのは。</li> <li>・SNSを掲載をする時には、必ず事前に担当部局に報告し、承諾を得てから掲載する。</li> </ul>
2	審議に関わる内容は、会議内で発言すべきであるが、会議外で審議内容を発信される可能性がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議内で発言すべきものは、会議内で発言しましょう！</li> </ul>
3	正確な内容が伝わらない可能性がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主に写真(視覚)で伝えていく。</li> <li>・写真内に言葉や文章を入れて、コメントをなるべく使用しないようにする。</li> <li>・管理しきれない部分も多いため、ルールを厳格化する。</li> <li>・文字数を決めて、しっかりと結論を発信する。(理解できる内容にする。)</li> <li>・所管課発信の内容転用が基本。</li> </ul>
4	投稿写真が悪用される危険性がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真を掲載していいかの確認をしっかりとる。</li> <li>・写真内に透かした文字等を入れて、写真の無断使用ができないように設定する。</li> <li>・やはり所管課発信の内容転用が基本。</li> </ul>
5	その他、懸念事項としてあげられるもの (自由記載)	<p>(懸念事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第三者にスケジュールや居場所、情報を知られてしまう危険性がある。</li> <li>・コメントの文面から、思わぬところで誤解や攻撃につながる可能性がある。 → コメント制限などの設定</li> </ul>

### SNS掲載による効果

- ・委員の服装、髪型などを含め会議の雰囲気が写真から伝わるため、自分も参加してみたいと思ってもらえる。
- ・会議資料が、学校のワークシートに似ていておもしろそうだと若年層にも興味を持ってもらえる。
- ・タイムリーに発信ができる。
- ・視覚に直接訴えることができる。
- ・いつでも手軽に確認できる。